

# 櫻 工

技術者の夢……………小川 清二	1
四方から沼津へ……………若尾 仁	2
創立当時の 電気工学科を語る……………大山松次郎	3
故郷谷川余四郎氏 を偲んで……………	7
研ふことなど……………喜多 兼	8
色について……………鎌子 正夫	9
硝子教授の 学生時代を偲んで……………笠原 常秋	10
西条の大暴風雨国鉄線路上横断	
旭工務社設立事業誌……………若松 文秋	21

「らんびき」と 数式の魔法……………小島 和夫	13
雪一輝……………	15
教室だより 友会だより 田村原 重太郎翁	
校友だより あぶら会……………	16
学生投稿欄……………	17
第五回学術講演会……………	18
工学祭だより……………	20
森門エール会近況……………	21
校友会記事……………	22
あとがき……………	24

第3号  
1956

# 櫻 工

1956

VOL. 2 NO. 3

日本大学工科校友会

日本大学工科校友会編集委員会

委員長 秋保 実

委員幹事 亀井 幸次郎

委員 伊藤 真治

〃 西 彪雄

〃 大野 弘道

〃 穴沢 一郎

---

## 技術者の夢

小川 清 二

---

例外は沢山あろうが一般に工業技術者は考え方が極めて着実である。之は誠に結構な事であつて此の美風は永く保存したい。然し私は稀には夢を持つものも又大切ではないかと近頃考えるようになった。

私は四十数年前京都大学で水野教授の量子説に関する講演を聞いた。内容は勿論全くわからず、唯一つ擱んだ事はあんな夢のような事が何の役に立つかという事であつた。

それから卅年、その夢から出発したものはとんでもない形で我々の頭上に落ちて来た。更に十年後の今日、我国でも遅ればせながら原子力を何とかしなければならぬと大騒ぎをして居る。数十年前から理論的にわかつた事がこういう事になつたのは、工業技術者の夢が足らなかつた事も一つの原因ではなからうか。

今日夢のような話に空飛ぶ円盤がある。之は兎角否定され勝ちだが、四十年前の原子力は今日の空飛ぶ円盤以上に夢的要素が多かつたような気がする。原子力同様、空飛ぶ円盤も卅年后にはどのようなものにならぬとも限らぬ。若い技術者は精々夢をもつて貰い度い。

(機械科教授 工博)

る。

### ○総務委員会

昭和三十年九月二十日

出席者 船石委員長以下七名出席  
協議事項

(1)母校発展の決議文の起草並に実行に関し事務当局より提出の文案を修正成文とする。

(2)前会長佐賀直光氏に対する感謝状に関し事務当局より提出の文案を一部修正可決する。

(3)会費並に徴集方法に関する件。

(4)会則才四章才十五条の一部修正に関する件。

(5)理事選出に関する件。

以上三項は結論を出さず尚検討の上来年度總會迄に決定する事とする

### ○事業委員会

昭和三十年九月二十一日

出席者 小沢委員長以下八名出席  
協議事項

(1)事業計画を検討し校友会の活動が今一層学生会員との結びつきを固くする様努力する事となる。

### ○名簿委員会

昭和三十年九月二十二日

出席者 松本委員長以下二十一名出席  
協議事項

(1)事業当局より昭和二十六年以来主たる事業を名簿発行として鋭意努力した結果昭和二十七年に綜合名簿を刊行するに至つた。其の後は経費の關係上綜合名簿は取り止め毎年の新卒業生と其の年間に於ける会員の異動を集録した補訂版を発行してきた旨説明があつた。

(2)将来の名簿発行に対し希望、並に参考事項が次の如く開陳された。

(4)殆ど全員より各科分冊名簿の刊行を希望する旨意見があつた。

(5)毎年の発行は経費の点からみても実行は困難と考へられるから大体隔年に改版する様努力する。

(3)本年は改訂版発行の準備期間とし来年度発行の基礎とする爲会員の異動を広く各科クラス評議員に対し本年度予算より調査費を支出し調査を依頼する。

(4)前項の目的を達成する爲既刊の名簿を各科各クラス評議員に無償にて配布することを理事会に提出する

(5)各科委員との連絡を密にする爲各科委員中一名を幹事とし幹事会を当分の間毎月、委員会を隔月に行ひ事とする。

### 編集委員会規定

才一条 この委員会は校友会誌の編集並に刊行を主業務とし、其他理事会から委嘱された出版事業の計画並に編集に當るものとす。

才二条 この委員会は前条の目的を達する爲次の事業を行ひ、

校友会誌並にニユース刊行の企画と編集

校友会誌並にニユース等に関する原稿の採否

校友会誌並にニユースの出版

其他これに伴う諸事項

才三条 1. 委員長は副会長がこれを担当する

2. 委員は理事中より副会長之を指名する。

3. 各支部長はこの委員会の地方委員とし会長がこれを委嘱する。

才四条 委員の任期は一ケ年とし年

度末をもつて終る。

但し委員の重任は妨げない。

才五条 委員長は委員会を統理し、幹事は委員長を扶けて業務の運営に當る。

才六条 委員会は必要に依つて臨時委員を委嘱することが出来る。

才七条 委員会に編集顧問を委嘱し編集に関する重要事項を相談することが出来る。

才八条 委員会は必要に応じて小委員会を設けることができる。

小委員会の設置廢止は委員会がこれを定める。

才九条 この委員会は原則として毎月一回これを開く。但し委員長が必要と認めるときは随時に開くことが出来る。

才十条 委員会と理事会との連絡は委員長がこれに當る。

### 「櫻工」投稿規定

1. 記事種類 (a) 科学ダイジェスト (b) 研究解説 (c) 外誌摘録、紹介 (d) 技術ニユース (e) 設計施工報告 (f) 隨筆記行文苑 (g) 支部便り

2. 原稿枚数 (a) (b) (c) (d) (e) は四百字詰十一枚以内

(f) は四百字詰五枚 (g) は隨意御参考まで本誌の組方は次の様になつてます。普通頁横組二段一行25字詰45行

3. 記事中の挿入寫真、図等は横14cm縦22cmを超えない事。

寫真は鮮麗なる印画、図はトレングペーパーに墨書の記事。

4. 雜報欄は個人、消息、異動欄を設けてありますから、情報の交換に御利用下さい。

5. (a) — (f) の御投稿に対しては薄謝を呈します。

## あとがき

最近本会より派遣された様な言辭を弄して、会費、寄附金、名簿代金を等を詐取する者があると聞いて居ります。集金等の計画はもつて居りますが未だ実行して居りません。人を派遣した際は本会発行の身分証明書を発行します故、一応身分証明書を要求せられる様御願致します。本号は

昨年末に発行する予定となつて居りましたが豫定した原稿が仲々集りなかつたので一ヶ月許り延びてしまいました。編集事務当局の怠慢を深く御詫び致します。毎号御投稿を御願いするのですが仲々原稿が集りません。本誌は校友皆様の雑誌ですから御遠慮なく御利用下さる様御すめ致します。次号は予定通り三月に発行致します故御後援下さる様。

## 櫻 工 第3号

昭和31年1月25日 印刷

昭和31年1月31日 発行

編集人 杉村俊一

発行人 高木政司

東京都北区中十条3/23

印刷所 ジャーナル社印刷所

電話(91)2124番

東京都千代田区神田駿河台1/8

発行所 日本大学工科大学会

電話東京(29)7711代表-9番  
振替口座東京162710番